

| 農業「草花」学習指導案 |  | 平成 年 月 日( ) 限目  | 園芸科3年  |          |   |
|-------------|--|---|--|----------|---|
| 単元          | 第6章 鉢もの生産 3 鉢花 ② シクラメン   |   | 教科書  | 実教 草花    |   |
| 単元・教材観      | 園芸科で履修させる、科目「草花」の学習の中で、鉢ものとして栽培される種類、鉢ものの生産形態や栽培的特性・経営的特性についての学習は重要な単元である。さらに、鉢ものは高度な栽培技術とアイデア・デザイン・感性が要求される特殊性を持っているため、プロジェクト学習へ発展させることができる学習内容である。授業をとおして、鉢ものについて理解を深めるとともに、学習の進め方や、実社会における知識や技術の活かし方についても指導する。  |   |  |          |   |
| 指導計画及び本時の目標 | 3 鉢花 ①鉢花の種類と栽培上の特性<br>②シクラメン   | 鉢花の種類<br>鉢花栽培の特性<br>栽培的・経営的特性<br>栽培管理                         | 1時間<br>1時間<br>2時間<br>1時間                     | 本時は第1時間目 |   |
| 生徒の状況       | 目標：シクラメンの栽培的特性・経営的特性について理解する。(知識・理解)<br>シクラメンがどのような印象を与えていたかを、歴史や文化を学ぶことで理解する。(知識・理解)  |   |  |          |   |
| 授業観         | 農業系大学・短大への進学志望者が10名程度いるが、生産農家の後継者や関連産業への就職希望者は少ない。しかし、入学当初より、草花への興味関心は高く、その中でも生活と草花の利用、園芸デザインについては意欲的である。そのため、朝のショートホームルームや授業の導入で話す誕生花などについては、真剣にメモをとる姿がみられる。<br>科目「草花」の中で取り上げる草花の種類は48種類であるが、実際の生花店では200種類以上扱っている。そこで、授業の導入で誕生花を紹介し、花言葉などを中心に、その花のもつ特徴や由来を学習することで、興味・関心をより喚起し、学習への意欲向上に努めてきた。<br>花卉農家の後継者や生花店への就職等草花に関連した進路を選択する生徒が少ない状況の中で、科目「草花」では、草花の栽培的特性や経営的特性の知識習得だけでなく、草花を文化的側面から捉え、豊かな生活とは何かについて考察させたいと考えている。本時は、鉢花の中でも代表的な存在であり、実際に文化祭で販売するシクラメンの栽培的特性・経営的特性について理解させるだけでなく、歴史や文化を学ぶことで、シクラメンのもつ特徴も理解させていきたい。 |   |  |          |   |
| 資料          | 自作プリント(B4版1枚 毎時間準備), 写真等(HPより)   |   |  |          |   |
|             | 指導内容   | 学習活動(生徒)  | 指導と評価  | 時間分      | 指導上の留意点                                   |
| 導入          | 学習環境の設定  | ファイル・筆記用具などを準備する。   | 学習準備   | 15       | 学習活動に必要なないものは机上に置かせない。                    |
|             | 前時間の復習   | 鉢ものの輸出入の現状について復習する。   | 左記について質問する。                                  |          | 前時間の復習をさせることにより、授業に集中させる。                 |
|             | 誕生花の説明   | タイムについて学習する。<br>花言葉や原産地、歴史や利用方法など                             | 誕生花を紹介する。                                    |          | 興味・関心を持たせるために、様々な角度から話す。                  |
| 展開          | シクラメンの特徴   | 日本人にどのような印象を持たれていたかを学習する。                                     | 学名等を板書してシクラメンの特徴を確認する。                       | 10       | 生徒の興味・関心を喚起できるよう声の抑揚や雰囲気作りに配慮する。          |
|             |  | シクラメンの学名や科名、原産地などを学習する。                                       |  |          |   |
|             | シクラメンの歴史と文化  | プリントの穴埋めをしながら、シクラメンがどのように利用されてきたのかを学習する。<br>海外と日本の違いについて理解する。 | [評価]シクラメンがどのような印象を与えていたかを、歴史や文化を理解する。(知識・理解) | 10       | 多くの事例を提示する。<br>生徒達が整理しやすいように時系列に注意して説明する。 |
| まとめ         | 栽培的・経営的特性  | プリントの整理をしながら、シクラメンの学名や科名、原産地などを学習する。<br>栽培上・経営上の特性を学習する。      | [評価]シクラメンの栽培的特性・経営的特性について理解する。(知識・理解)        | 10       | プリントへの記入がきちんと進んでいるかを確認しながら板書をする。          |
|             | 学習内容の再確認   | ①黒板やプリントを見ながら、本時のポイントを復習する。<br>②次回の授業について、指示を受ける。             | 学習内容の再確認する。                                  | 5        | プリントをファイルに綴じ込ませる。                         |
| 備考          | 園芸科3年34名のうち、科目「総合実習」でシクラメン栽培を中心とした実習を専攻している生徒が9名いる。本時以前よりシクラメン栽培に取り組んでいる生徒に配慮しながら授業を展開していく。また、実際に栽培している生徒に、体験から習得した技術や知識に関して発言の場を持たせられるような展開を心がける。   |   |  |          |   |